イラストは RR-US570 です。

保証書付き

Panasonic®

取扱説明書
IC レコーダー

品番 **RR-US590**
RR-US570

ご安全上の注意 / 準備 / 基本操作 / 応用操作 / パソコンと使う / その他

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（P42 ～ 45）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品 番	
販 売 店 名	☎（　　）　－		

パナソニック株式会社　AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT9356-S
H1208TY0

本機の楽しみかた

録音する

会議で	授業や講演会で	音声メモに

再生して聞く

- 録音ファイル
- MP3 音楽ファイル

インサイドホンで	スピーカーで

パソコンと接続する

パソコンで
- 録音ファイルを取り込む / 整理（削除）する / 再生して聞く

パソコンから
- MP3 音楽ファイルを転送する

付属品の確認

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。

□ステレオインサイドホン【L0BAB0000172】
□USB ケーブル【K2KZ4CB00012】
□単４形アルカリ乾電池：２本

●かっこ【　】内は、買い替え時の品番です。品番は 2008 年 12 月現在のものです。品番は変更されることがあります。
●包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

付属品（上記）と別売品（P22）は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic
Pana Sense
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください（P42 ～ 45）

各部のなまえ

本体

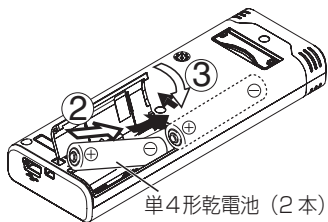
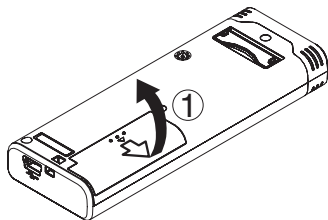
① 録音ランプ (赤色)
② LCD 表示部
③ フォルダボタン
④ 停止ボタン
⑤ + (音量) ボタン
⑥ |◀◀ (早戻し) ボタン
⑦ ▶/■（再生 / 停止 / 決定）ボタン
⑧ −（音量）ボタン
⑨ ▶▶|（早送り) ボタン
⑩ 内蔵スピーカー
⑪ 電源 / ホールドスイッチ
⑫ 録音ポジションスイッチ
（ズーム / ワイド / マニュアル）
⑬ 録音 / 一時停止ボタン
⑭ • メニュー /ー リピートボタン
⑮ 消去ボタン
⑯ USB 端子
⑰ 内蔵マイク
⑱ 外部マイク端子（マイク）
⑲ インサイドホン端子（Ω）
⑳ スタンド

机上などに置いてズーム録音する場合は、スタンドを立てることで安定したズーム効果が得られます。

㉑ ズーム用マイク
㉒ 電池ふた
㉓ ストラップ取り付け穴

表示部

メモリー残量（P16)／録音レベル（P9）
XPLPSLP：録音モード（P15）
MONO ST：モノラル／ステレオ（P14）
マイク◀|||：マイク感度（P14）
ファイル番号（P10）
BS：少し戻る再生（P18）
残り時間：録音可能残時間（P16）
EQ：ノイズカット（P18）
スピード：再生スピードコントロール（P17）
フォーマット：フォーマット（P12）
A B C D ♪：フォルダ（P9、10）
ZOOM：ズーム録音（P15）
連続 ↻ A-B：連続／リピート再生（P19）
電池残量（P5）
消去（P12）
セキュリティ（P20）
ロック：誤消去防止（P13）
VOS録音（P16）
操作音（P24）
録音·再生経過時間（P9、11）／録音可能残時間（P16）／再生残時間（P11）／現在時刻（P7)など
時計設定（P7)/録音·再生時間（P10、11）／録音日時（P10）

電池を入れる

●電池は付属または市販のアルカリ乾電池をお使いください。

録音中や再生中に下記の電池残量表示が表示されます。

●電池残量がなくなると“　”が点滅します。お早めに電池交換してください。

●長期間使用しないときは、本機から電池を取り出しておいてください。

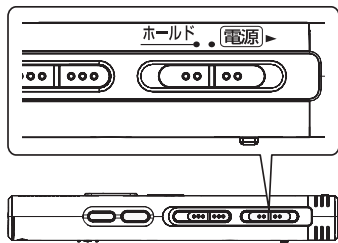
●時計設定を保持するため、電池交換は約 30 秒以内に行ってください。

電池を取り外す場合は電源を切った状態で行ってください。

• 録音中やファイル削除中などに電池を外されるとデータが全て失われたり、本機の故障につながる可能性があります。

準備

電源を入れる / 切る

電源 / ホールドスイッチ

電源を入れるには

- 電源 / ホールドスイッチを 電源► 方向にスライドさせると電源が入り、表示が点灯します。

電源を切るには

- 電源 / ホールドスイッチを約 2 秒 電源► 方向にスライドさせたままにする。
  また、停止状態で約 15 分間以上何も操作しないと "bYE" が表示された後、自動的に電源が切れます。

● 初めて電源を入れたときは "**時計設定** (点滅)" が表示されます。時計を合わせてください (P7)。

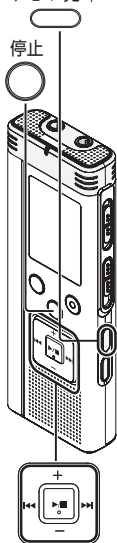
ホールド機能

ホールドにすると、ボタン操作を受け付けなくなります。

電源 / ホールドスイッチを切り換えるには

- ホールド中は、電源が入った状態で操作ボタンが押されても操作を受け付けない ("hold" が表示されます。) ので、録音や再生が中断するなどの誤操作防止になります。

時計を合わせる

お買い上げ時など、時計設定されていない状態で電源を入れると表示部に“**時計設定**”(点滅) が表示されます。(電源を入れた状態では、約 1 分後に“12:00”(点滅) に変わります。)
録音日時の記録に使用しますので、時計を設定しておいてください。
時計を設定していなくても録音は可能ですが、録音日時は“- - - -”と表示されます。

“時計設定”(点滅) 表示の場合

- 電源を入れておく。(P6)

1 ▶/■ を押す

2 +、−で年を設定し、▶/■ で決定する

月日も同様に行う。

上記イラストは表示例です。

3 ⏮、⏭ で時刻表示方式を選び、▶/■ で決定する

24 時間表示 12 時間表示

4 +、− で時刻を設定し、▶/■ で決定する

+、− を押したままにすると高速で時刻を変更できます。

24 時間表示 12 時間表示

“12:00”(点滅) 表示の場合や時刻を変更する場合

- 電源を入れておく。(P6)
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 •メニュー/ーリピート を押す

“XPLPSLP”(点滅) または **“時計設定”**(点滅) が表示されます。

2 +、−で“時計設定”を選び、▶/■ で決定する

“時計設定”(点滅) の場合は、そのまま ▶/■ で決定する

3 左記の手順 2 3 4 を行う

- 設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。
- 時計精度は、室温で月差約 60 秒です。
- 電池が消耗し切った状態になると、時計設定は解除されます。

準備

録音設定について

本機には、録音の音質に関係する 4 つの録音設定項目があります。設定を組み合わせることにより状況に適した音質で録音できます。

録音設定項目	設定内容と画面表示
録音モード (P15)	高音質 ⇕ 長時間 高音質：XP ：LP 長時間：SLP
モノラル / ステレオ切換 (P14)	モノラル：MONO ステレオ：ST
マイク感度 (P14)	高：マイク◀▎▌ 標準：マイク◀▎ 低：マイク◀
ズームマイク (P15)	ズームマイク入：ZOOM ズームマイク切：表示無し

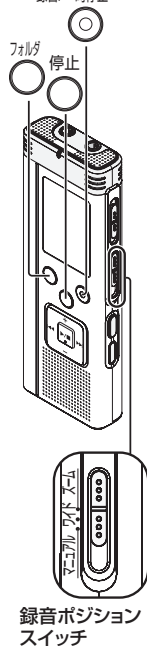
録音モードとステレオ / モノラルの組み合わせによって総録音可能時間が変わります。(P39)

録音ポジション切換

本機には録音設定を固定した「ズーム」、「ワイド」とお好みに合わせて設定内容を変更できる「マニュアル」の 3 つの録音ポジションがあり、録音ポジションスイッチで切り換えができます。

録音ポジション	設定内容 (画面表示) と用途
ズーム	XP MONO マイク◀▎▌ ZOOM 授業や講演会など狙った人の声を録る
ワイド	XP ST マイク◀▎▌ 会議など臨場感を加えて録る
マニュアル	XP MONO マイク◀ ZOOM ※ 音声メモをとるときなど ※ "マニュアル" ポジションは、お買い上げ時、音声メモに適した設定になっています。お好みに合わせて変更できます。(P14、15)

録音モード (XP、LP、SLP) は、どのポジションでも変更できます。(P15)

録音ポジションスイッチ

録音する

- 電源を入れておく。(P6)
- 停止 ◯ を押して、停止状態にしておく。

1 録音ポジションスイッチを切り換える

録音ポジションを選んでください。(P8)

2 録音先のフォルダを選ぶ

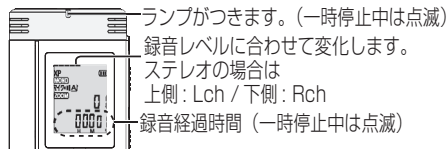
フォルダ ◯ をポンと押すたびに切り換わりますので、"A B C D" から選んでください。(お買い上げ時は "A")

"♪" を選んだ場合、自動的に "A"(すでに 99 ファイル入っている場合は次の空きフォルダ)へ録音されます。

3 録音 / 一時停止 ◎ を押す (録音開始)

押すたびに　一時停止 ⇄ 録音再開

録音中の表示

- ランプがつきます。(一時停止中は点滅)
- 録音レベルに合わせて変化します。ステレオの場合は 上側 : Lch / 下側 : Rch
- 録音経過時間(一時停止中は点滅)

停止する : 停止 ◯ を押す。

フォルダとは

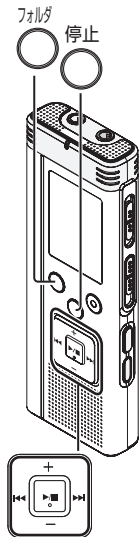
録音(音楽)ファイルを入れる場所のことで、本機では 4 つの音声フォルダ "A B C D" と 1 つの音楽フォルダ "♪" があります。

目的別にフォルダを使い分けて録音しておくと、後で探すときに便利です。音声フォルダの場合は、A〜D 各フォルダに最大 99 ファイルまで録音できます。

ファイルとは

録音した音声データは、録音開始から停止するまでを 1 つのまとまりにして保存されます。

この保存データをファイルと呼びます。

- 録音中、録音ポジションスイッチの位置を変更しても設定は録音終了まで変更されません。
- 必要に応じて録音モード (P15) を変更してください。
- 録音時は、ズーム用マイクと内蔵マイクの穴 (P4) を、指などでふさがないでください。

- 停止 ◯ を押して、停止状態にしておく。
- フォルダを選択しておく。（右記）
- ファイルを選択しておく。（右記）

フォルダ
停止

1 ▶/■ を押す（再生開始）

音量を調整する

音量を大きくする：＋ を押す
音量を小さくする：－ を押す
0 から 20 までの間で調整できます。
（お買い上げ時は 13）

再生中の操作

とび越し (スキップ)：

◀◀、▶▶ をポンと押す。
ファイルの途中で ◀◀ を押すと、そのファイルの先頭にとびます。前のファイルに戻る場合は 1 秒以内にもう一度 ◀◀ を押す。

早戻し / 早送り（サーチ）：

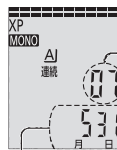
◀◀、▶▶ を押したままにする。

停止：▶/■ または 停止 ◯ を押す。

フォルダの選択

フォルダ ◯ をポンと押すたびに “A”、“B”、“C”、“D”、“♪” と切り換わります。
再生するファイルの入ったフォルダを選択してください。

ファイルの選択

◀◀、▶▶ で選ぶ。
押すたびにファイル番号が変わります。

ファイルを選ぶと、以下の録音情報が順に表示されます。

録音日 → 録音開始時刻 → 録音時間 → フォルダ内の総ファイル数

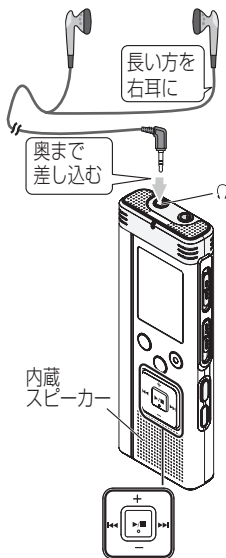
残りの再生時間を確認する

再生中に フォルダ ◯ を 1 秒以上押したままにする

再生中のファイルの残り時間が約 3 秒間表示されます。

●ファイルの終端から約 3 秒以内は表示されません。

インサイドホンで音声を聞く

付属のステレオインサイドホンを接続してください。
（プラグタイプ：φ 3.5 mm ステレオミニプラグ）

録音中の音声をモニターする

録音中のモニター音声を聞くことができます。

音量を調整する：

+、− を押すと音量を調整できますが、録音レベルには影響しません。

再生中の音声を聞く

再生中の音声は内蔵スピーカーから聞こえます。周りが騒がしく、音が聞き取りにくい場合は、インサイドホンでお聞きください。

●インサイドホンを接続すると、内蔵スピーカーからの音声は出なくなります。

録音ファイルを消去する

• フォルダを選択しておく。(P10)

❶ 再生中、または停止中に 消去 を押す

❷ ⏮、⏭ でファイルを選ぶ

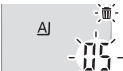
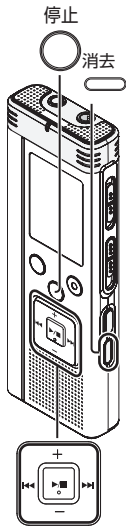
① 一つのファイルを消去する場合

② 一つのフォルダ内の全ファイルを消去する場合

③ A ～ D フォルダ内の全ファイルを消去する場合

④ 全フォルダ内の全ファイルを消去する場合

⑤ 本機をフォーマットする場合

①～④：ロックしたファイルと本機で再生できないファイルは消去できません。

❸ ▶/■ でファイルを決定する

❹ ⏮、⏭ で "YES" を選び、▶/■ で決定する

消去が完了すると "- -" が表示されます。完了までに数十秒かかる場合があります。

フォーマットについて

フォーマットを実行すると、ロックしたファイルやパソコンから転送した音楽ファイルやデータファイルなど、保存した全てのデータが消去されます。

●消去すると元に戻すことはできません。

●ファイルの一部分のみの消去はできません。

●操作を途中でやめる場合は 停止 を押す。

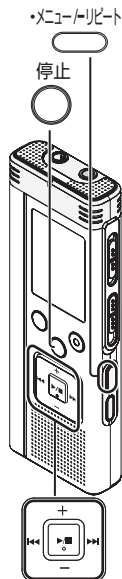
●消去後、本機に表示されるファイル番号は前詰めされます。

●電池残量表示が "▭" (点滅) の時は、消去とフォーマットはできません。

録音ファイルをロックする（誤消去防止）

録音したファイルにロックをかけておくと、本機で消去することができません。（フォーマットを除く。）
誤消去防止にご使用ください。

•メニュー/•リピート

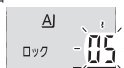
停止

- フォルダを選択しておく。(P10)
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

❶ •メニュー/•リピート を押す

メニュー画面に "XPLPSLP"（点滅）が表示されます。

❷ ＋、－ で "ロック" を選び、▶/■ で決定する

❸ ⏮、⏭ でファイルを選ぶ

① 一つのファイルを選ぶ場合

A ロック 05

② 一つのフォルダ内の全ファイルを選ぶ場合

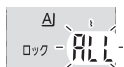
A ロック ALL

③ 全フォルダ内の全ファイルを選ぶ場合

A B C D ♪ ロック ALL

❹ ▶/■ でファイルを決定する

❺ ⏮、⏭ で "On" を選び、▶/■ で決定する

A ロック 05 On OFF

ロック設定が実行されます。
完了までに数十秒かかる場合があります。

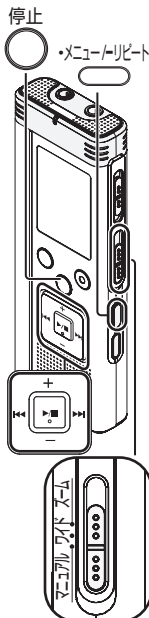
ロックを解除する場合：

手順 ❶ ～ ❹ を行った後、手順 ❺ で "OFF" を選び、決定する。

- 設定を途中でやめる場合は 停止 を押す。
- ロック設定をしたファイルには "ロック" が表示されます。
- 選択したフォルダ内に録音ファイルが無い場合は、メニュー画面に "ロック" は表示されません。
- 電池残量表示が "▭"（点滅）の時は、ロックできません。

基本操作

録音設定を変更する（モノラル / ステレオ、マイク感度）

停止
・メニュー/ーリピート

モノラル / ステレオを変更する

- 録音ポジションスイッチを「マニュアル」に設定しておく。(P8)
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

❶ ・メニュー/ーリピート を押す

"XPLPSLP"（点滅）が表示されます。

❷ +、− で "MONO ST" を選び、►/■ で決定する

XP
MONO ST

❸ ◄◄、►►I で "MONO" または "ST" を選び、►/■ で決定する

MONO ST
モノラル

MONO ST
ステレオ

マイク感度を変更する

- 録音ポジションスイッチを「マニュアル」に設定しておく。(P8)
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

❶ ・メニュー/ーリピート を押す

"XPLPSLP"（点滅）が表示されます。

❷ +、− で "マイク" を選び、►/■ で決定する

XP
MONO
マイク
ZOOM

❸ ◄◄、►►I でマイク感度を選び、►/■ で決定する

マイク	マイク	マイク
低	標準	高

録音ポジションスイッチ

マニュアル ワイド ズーム

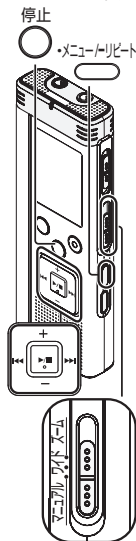
- 設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。
- "ZOOM"（ズーム ON）設定 (P15) された状態で、"ST" を選んだ場合、ズームマイクの設定は解除されます。（"ZOOM" が消えます。）

録音設定を変更する (ズームマイク / 録音モード（XP/LP/SLP))

ズームマイクの設定を変更する

周囲の音を押さえ、狙った前方の音を強調して録音します。
ズームマイクを使っての録音はモノラル音声になります。

停止

•メニュー/ーリピート

- 録音ポジションスイッチを「マニュアル」に設定しておく。(P8)
- "MONO"（モノラル）に設定しておく。(P14)
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 •メニュー/ーリピート **を押す**

"XPLPSLP"（点滅）が表示されます。

2 **+、− で " ZOOM " を選び、▶/■ で決定する**

マイク
ZOOM

3 **⏮、⏭ で "On" または "OFF" を選び、▶/■ で決定する**

On OFF
ズーム ON

On OFF
ズーム OFF

- 設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。
- "ST"（ステレオ）に設定（P14）しているとズームマイクの設定はできませんので、メニュー画面に "ZOOM" は表示されません。
- 本機のマイクの設定をズーム "On" にしていても、外部マイク端子に機器を接続している間は、ズーム機能は働きません。
- 机上などに置いてズーム録音する場合は、スタンドを立てて録ることをおすすめします（P4)。

マニュアル ワイド ズーム

録音ポジションスイッチ

録音モード (XP/LP/SLP) の設定方法

- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 •メニュー/ーリピート **を押す**

"XPLPSLP"（点滅）が表示されます。

2 **▶/■ で決定する**

3 **⏮、⏭ で "XP"、"LP" または "SLP" を選び、▶/■ で決定する**

- 長時間モード（SLP）で録音・再生したときに、雑音が気になる場合は、XP または LP モードをお試しください。

VOS(Voice Operation System)機能

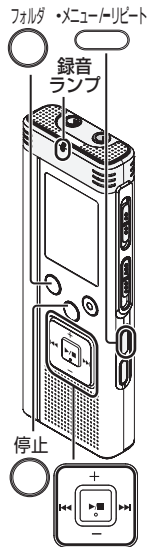
無音状態が約3秒間続くと、自動的に録音を一時停止し、音声が入ると録音再開します。

• 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 •メニュー/ーリピート **を押す**

"XPLPSLP"(点滅)が表示されます。

2 **+、− で"VOS"を選び、►/■ で決定する**

3 **⏮、⏭ で"On"を選び、►/■ で決定する**

"VOS"が表示されます。

録音を始めるとこの機能が働きます。録音中、VOS 機能が働いて一時停止しているときは"VOS"と録音ランプが点滅します。

VOS 機能を解除する：

手順 ❸ で"OFF"を選び、決定する。

●**大事な用件を録音するときは、解除してください。**

●設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。

録音可能時間(残量)を確認する

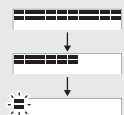
1 **録音中、または停止中に フォルダ を 1 秒以上押したままにする**

残りの録音可能時間が約 3 秒間表示されます。

録音中、メモリー残量がわずか※になると自動的に録音可能時間(残量)表示に切り換わります。

録音可能時間

時間 分 秒

また、停止中の"▬"表示はおおまかなメモリー残量を表しています。
残量に応じて"▬"が点灯します。
メモリー残量がわずか※になると"▬"が点滅します。

※現在の録音設定での録音可能時間が約 1 時間以下になったとき

再生スピードコントロール機能を設定する

再生速度を 5 段階で調整できます。

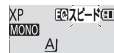
停止

・メニュー/ーリピート

❶ 再生中に ・メニュー/ーリピート を押す

“EQ”（点滅）と “スピード”（点灯）が表示されます。

“♪”フォルダ選択時は “スピード”（点滅）だけが表示されます。

❷ ▶▶I で “スピード” を選び、▶/■ で決定する

❸ I◀◀、▶▶I で再生速度を選ぶ

▶▶I で再生速度が早くなり、“▬”点滅が右側に移動

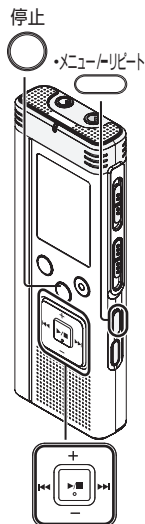
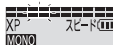
I◀◀ で再生速度が遅くなり、“▬”点滅が左側に移動

0.5 倍速　0.75 倍速　1 倍速　1.5 倍速　2 倍速

❹ ▶/■ で決定する

●設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。

●1 倍速以外で再生しているときは、上部のバーが点滅し “スピード” が点灯します。

例）0.75 倍速で再生した場合

ノイズカットする (EQ 設定)

再生中の音声を聞き取りやすくする機能です。
"♫" フォルダ選択時は設定できません。

1 再生中に •メニュー/–リピート を押す
"EQ"（点滅）と "スピード"（点灯）が表示されます。

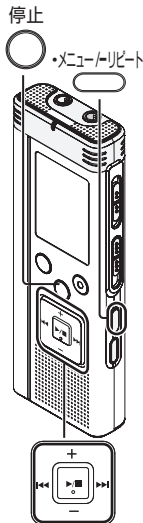
2 ▶/■ を押す

3 ⏮、⏭ で "On" を選び、▶/■ で決定する

-On-OFF

設定後は、再生中に "EQ" が表示されます。

ノイズカット(EQ 設定)を解除する:

手順 3 で "OFF" を選び、決定する。

少し戻る再生を設定する

少し戻る再生とは、再生中に ⏮ をポンと押すと、約 5 秒ほど戻って再生する機能です。

- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 •メニュー/–リピート を押す
"XPLPSLP"（点滅）が表示されます。

2 +、– で "BS" を選び、▶/■ で決定する

ロック
BS

3 ⏮、⏭ で "On" を選び、▶/■ で決定する
設定後は "BS" が表示されます。

BS
-On-OFF

少し戻る再生を解除する：

手順 3 で "OFF" を選び、決定する。

●設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。

●A-B リピート再生 (P19) 中は、少し戻る再生はできません。

繰り返し再生（リピート）/ 連続再生 /A-B リピート再生

繰り返し再生 (リピート)/ 連続再生

停止中に •ﾒﾆｭｰ/ｰﾘﾋﾟｰﾄ を 1 秒以上押したままにするたびに切り換わります

連続 → 連続 ⭯ → 表示なし→ ⭯

“連続” 表示

ZOOM 連続 04

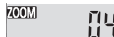
一つのフォルダ内の選択したファイルから最終ファイルまで続けて再生します。終わると停止します。
(お買い上げ時は “連続 ”)

“連続 ⭯” 表示

ZOOM 連続 ⭯ 04

一つのフォルダ内の全ファイルを繰り返して再生します。

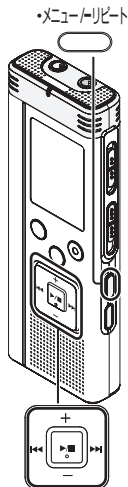
表示なし

ZOOM 04

一つのファイルの再生が終わると停止します。

“⭯” 表示

ZOOM ⭯ 04

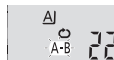
一つのファイルを繰り返して再生します。

●設定後 ▶/■ を押して再生する。

A-B リピート再生

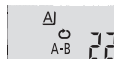
始点（A）と終点（B）を設定すると、その間を繰り返し再生します。

1 再生中に •ﾒﾆｭｰ/ｰﾘﾋﾟｰﾄ を 1 秒以上押す

始点 (A) が設定され “A-B” (点滅) と “⭯” (点灯) が表示されます。

A⏌ ⭯ A-B 22

2 終点 (B) で •ﾒﾆｭｰ/ｰﾘﾋﾟｰﾄ を押す

“A-B” (点灯) に変わり、 A-B リピート再生が始まります。

A⏌ ⭯ A-B 22

A-B リピート再生を解除する :

再生中、 または停止中に •ﾒﾆｭｰ/ｰﾘﾋﾟｰﾄ を 1 秒以上押したままにするか ⏮、⏭ をポンと押す。

●以下の場合、A-B リピート設定できません。
- ファイルの先頭から約 1 秒以内、 終端から約 2 秒以内
- 始点 (A) と終点 (B) の間が約 2 秒以下

●始点（A）を設定したまま、ファイルが終わりまで再生されると、ファイルの終端を終点（B）として A-B リピートが開始されます。

●A-B リピート再生中は、少し戻る再生（P18）はできません。

パスワードを設定しておくと、セキュリティロックがかかり、再生時や本機をパソコンに接続する際にパスワード認証が必要になります。パスワードが一致しないと、録音ファイルを再生したり、パソコンで本機を認識することができないので、紛失・盗難時に安心です。

パスワードを忘れると A ～ D フォルダ内の録音ファイルが再生できなくなります。忘れないようにメモ欄（右記）に書き留めておいてください。

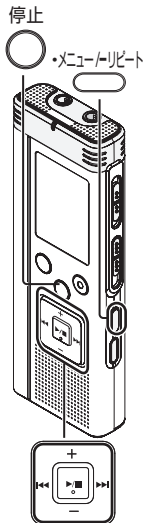
パスワード (4 桁の数字) を設定する

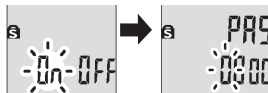
• 停止 を押して、停止状態にしておく。

❶ •メニュー/ーリピート を押す

“XPLPSLP”（点滅）が表示されます。

❷ +、− で “S” を選び、▶/■ で決定する

S ロック
BS

❸ ⏮、⏭ で “On” を選び、▶/■ で決定する

パスワード設定画面に入ります。

❹ +、−で数字を選び、▶/■ で決定する

次の桁に移動しますので、同様に4 桁目まで入力します。
（⏮、⏭ で桁を選べます。）
4 桁目の入力が終わるとパスワードが確定されます。
設定後“S”が点灯します。

メモ欄

パスワード	

パスワードが設定されている場合、再生しようと ▶/■ を押すとパスワード入力画面が表示されます。（P21）

セキュリティロックを解除する：

①手順 ❸ で “OFF” を選び、決定する。
②手順 ❹ を行う。（パスワードを入力する。）

●設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。
●パスワードを変更する場合は、セキュリティロックを解除し、手順 ❶ から設定し直してください。

パスワード認証を行う

P20 手順 ❹ を行う（パスワードを入力する）

■ パスワードが一致すると

● セキュリティロックが一時的に解除され、録音ファイルが再生できます。（一時解除中は “🔒” が点滅します。）

● Ⓐ の状態のとき、セキュリティロックが再度かかります。

Ⓐ
- 停止状態で約 15 分以上、何も操作しないで電源が切れた状態（P6）
- 15 分以上電源を切っていた状態

■ パスワードが間違っていると

● ビープ音が鳴り “PAS Err” が表示され、パスワード入力画面に戻ります。パスワード入力を 5 回間違うとパスワード入力ができなくなります。その場合は、Ⓐ（上記）の状態になってから再度パスワード入力してください。

■ パスワードを忘れた場合

全ファイルを消去することで、パスワードを初期化できます。

①A ～ D フォルダ内にロックされたファイルがある場合、ロックを解除する。（P13）

②A ～ D フォルダ内の全ファイルを消去する。(P12)

③「パスワード（4 桁の数字）を設定する」の手順 ❸ で “OFF” を選び、▶/■ で決定する。（P20）

● セキュリティロックが解除されていない状態でパソコンに接続すると、本機を認識しません。USB ケーブル接続後、パスワード入力画面が表示されますので、パスワード認証を行ってください。

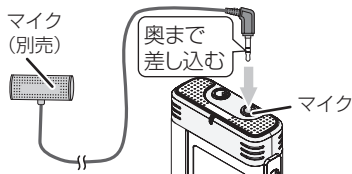
● セキュリティロックが解除されていない状態でも、録音と音楽再生をすることはできます。

本機のセキュリティ機能は、パスワードによりファイルの再生を制限するものであり、暗号化等を行うものではありません。万一、パスワードが他人に解かれたり、知られたりした場合、その損害について当社は一切の責任を負いません。

外部マイクをつないで録る

外部マイクをつなぐと雑音の少ない音声を録音することができます。
プラグインパワーでφ 3.5 mmミニプラグのマイク（別売）を使用してください。（推奨品：RP-VC201）

- ご使用のマイクタイプのモノラル / ステレオに応じて本機のモノラル / ステレオを設定してください。（P14）

1 下記のように接続する

2 録音する（P9）

テレフォンマイクで電話録音する

- モノラルに設定しておく。（P14）

1 テレフォンマイクのプラグを本機の外部マイク端子に接続する

2 テレフォンマイクを電話機を当てる側の耳に挿入する

3 電話しながら録音する (P9)

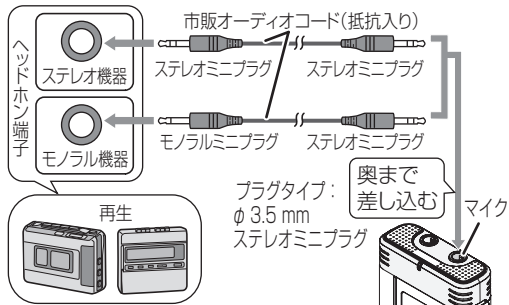
●**接続する機器の説明書もお読みください。**

●録音レベルが小さい、または大き過ぎる場合は、マイク感度を調整してください。（P14）

●外部マイク端子に機器を接続している間は、本機のマイク機能は働きません。

●別売品の品番は、2008 年 12 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

他機器から本機へダビングする

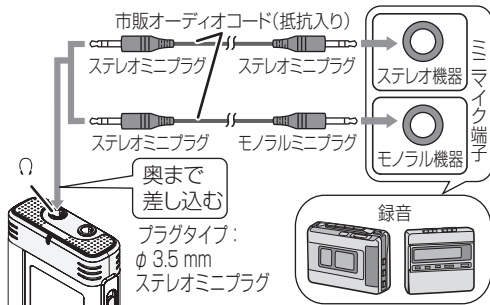
• ステレオに設定しておく。(P14)

❶ 下記のように接続する

❷ 録音する

① 再生機器で再生する
② 本機で録音する（P9）

本機から他機器へダビングする

• ダビング時は、操作音を消しておいてください。(P24)

❶ 下記のように接続する

❷ 録音する

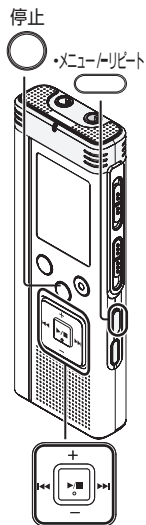
① ダビングしたいファイルを本機で再生する（P10）
② 録音機器で録音する

●接続する機器の説明書もお読みください。

●モノラル / ステレオ（接続する機器）に応じた接続コードをお使いください。間違った組み合わせで使用した場合、片チャンネルしか録音されないなど、正常に録音できない場合があります。

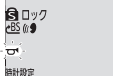
●ダビング後の音質は、ダビング前の音質とは異なる場合があります。

●適切な音量で録音するために、再生機器側で音量を調整してください。

操作音を消す

- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 •メニュー/–リピート **を押す**

"XPLPSLP"（点滅）が表示されます。

2 **+、– で"〔アイコン〕"を選び、▶/■ で決定する**

3 **⏮、⏭ で"OFF"を選び、▶/■ で決定する**

操作音を鳴らす：

手順 ❸ で"On"を選び、決定する。

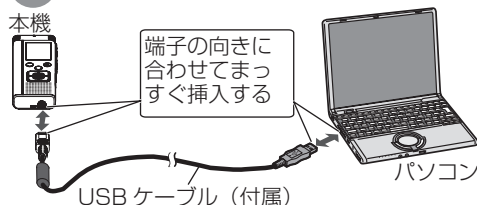
●設定を途中でやめる場合は、停止 を押す。

本機をパソコンに接続する

本機で録音した録音ファイルをパソコンに取り込んだりできます。

- パソコンを起動させておく。
- 停止 を押して、本機を停止状態にしておく。

1 **USB ケーブルを本機に差し込む**

2 **USB ケーブルをパソコンに差し込む**

パソコンが本機を認識すると、本機の表示部に"PC"が表示されます。

パソコンが本機を認識しないとき

"PAS"を表示の場合、パスワードを入力してください。（P21）

0000

"USb--nG"を表示している場合は、一度パソコンから本機を取り外し、電池交換後、接続し直してください。

●電池が消耗し切った状態、または電池が入っていない状態でパソコンに接続しても、本機を認識しません。（P36）

USB ケーブルは付属のものをお使いください。また、付属のケーブルは他の機器に使わないでください。

■ パソコンの動作環境 (対応 OS)

Windows 2000（SP4)、Windows XP および SP2、SP3、Windows Vista および SP1（2008 年 12 月現在)

●動作環境の詳細は P26 をご覧ください。

●本機とパソコンを接続していると、パソコンが起動（再起動）しない場合があります。パソコンを起動(再起動)するときは、本機から USB ケーブルを抜いておくことをおすすめします。

●本機とパソコンを接続中にパソコンを起動（再起動）したり、パソコンが省電力モードになると、パソコンが本機を認識しないことがあります。本機を取り外して再接続するか、パソコンを再起動してから本機を接続し直してください。

● 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合や、USB ハブ、延長ケーブルを使用する場合は、動作を保証しません。

●パソコンの取り扱い方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■ USB ケーブルを取り外す

パソコンの画面下のタスクトレイにあるアイコン（Windows 2000/Windows XP: [ ]、Windows Vista : [ ]）をダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。（OS の設定によっては表示されません。）

取り外した後は、本機の電源が切れます。

■ USB マスストレージ機能

本機は USB メモリーとしても機能し、パソコンの外部記憶装置として認識されます。

パソコン内のデータファイルを本機内に転送 / 保存することができます。

- OS : パソコンの基本ソフトウェア（Windows XP など）
- ダブルクリック : マウスの主ボタンを 2 回連続で押すこと
- マウス : パソコン操作で入力位置の指示などを行う機器

パソコンの動作環境

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	• Windows® 2000 Professional SP4 • Windows® XP Home Edition/Professional および SP2、3 • Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate および SP1 プリインストールされた各日本語版
インターフェース	USB 端子 USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。

※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※ NEC　PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
※ 対応 OS 以外での動作は保証していません。
※ OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
※ マルチブート環境には対応していません。
※ お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
※ 64 ビット OS 搭載のパソコンには対応していません。
※ Windows Media® Player をご使用の際には、お客様ご使用のパソコンが Windows Media® Player の動作環境を満たしている必要があります。Windows Media® Player に関する詳細は Microsoft 社にお問い合わせ下さい。
※ 本機で録音したファイルは、当社製 TRC、ADPCM 形式での IC レコーダーで再生することはできません。また、TRC、ADPCM 形式の IC レコーダーに付属のパソコンソフト (Voice Editing) で読み込むことはできません。
※ 本機で録音した内容は、専用ソフトを使わずにパソコンへ転送できます。本機には、パソコンソフト (Voice Editing) は付属していません。

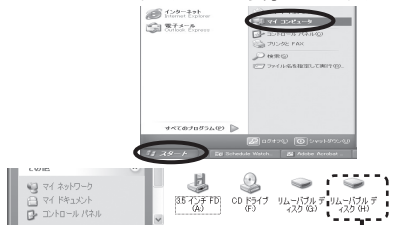
パソコンの環境によっては本機で録音した音声データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音声データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

パソコンで本機のフォルダを開く

表示は Windows XP（OS）の場合です。OS によって表示は変わります。

- 本機をパソコンに接続しておく。(P24)

1.「スタート」から「マイ コンピュータ」（Windows Vista の場合は「コンピュータ」）**を指定して右クリックから「開く (O)」を選ぶ**

本機がリムーバブルディスクとして表示されます。

リムーバブルディスクとは、パソコンに接続されている外部記憶装置 (SD メモリーカード、USB メモリーなど) です。
説明中のパソコンの構成、外部記憶装置の種類などは一例です。実際にお使いになっているパソコンによって表示は異なります。
リムーバブルディスク（H:）の“H”は変わります。

- 右クリック：マウスの副ボタン（右利き用マウスの場合は右ボタン）を押すこと
- マウス：パソコン操作で入力位置の指示などを行う機器

2. リムーバブルディスク（本機）を指定して右クリックから開く

本機のフォルダ（A ～ D、MUSIC）が表示されます。
（本機の画面上で A B C D ♪ と表示されているもの）

3. フォルダを指定して右クリックから開く

本機の録音ファイルが表示されます。

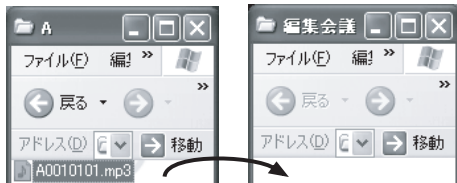
パソコンと使う

本機の録音ファイルをパソコンに取り込む・整理する

• パソコン画面に表示されたリムーバブルディスク（本機）を開き、音声フォルダ（A～D）を開いておく。(P27)

録音ファイルをパソコンに取り込む

1. **本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「コピー (C)」を選ぶ**
2. **パソコン内のフォルダなどを指定して、右クリックから「貼り付け (P)」を選び、パソコン内へ取り込む**

本機のフォルダ　　パソコンのフォルダ

録音ファイルをパソコンで再生する：

本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「再生 (P)」を選ぶ。

不要な録音ファイルをパソコンで削除する：

本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「削除 (D)」を選び、「はい (Y)」で決定する。

フォルダ名を変更しないでください

パソコンで本機のフォルダ（A、B、C、D、MUSIC）の名前を変更した場合、本機をパソコンから外した時点で、新たに A、B、C、D、MUSIC フォルダが生成され、名前が変更されたフォルダ内のファイルは再生対象外になります。

●「ドラッグ＆ドロップ」でも録音ファイルをパソコンに取り込むことができます。

●ファイルを削除した場合、本機に表示されるファイル番号は前詰めされます。

●データ転送中は、本機の“PC”が点滅表示します。“PC”点滅中は、**絶対に USB ケーブルを抜かないでください。**ファイルデータや本機が壊れたり、データが全て失われる可能性もあります。

●パソコンから本機を外したとき、またはその後に電源を入れたときなど、本機内でのファイルデータ更新中は“[F] ACCESS”がしばらく表示されます。

●**パソコンで、本機をフォーマットしないでください。**

パソコンに取り込んだ録音ファイルを本機に戻す

• 本機の音声フォルダ（A～D）を開いておく。（P27）

パソコンから本機に録音ファイルを戻す

1. パソコン内に取り込んだ録音ファイル (P28) を指定して、右クリックから「コピー (C)」を選ぶ

2. 本機内の戻したいフォルダを指定して、右クリックから「貼り付け (P)」を選び、録音ファイルを戻す

ファイルは、必ず取り込み元のフォルダに戻してください。違うフォルダに戻すと本機で再生できません。（ファイル名の一文字目A～Dと、戻す本機のフォルダ名A～Dが一致すること）

ファイル名を変更しないでください

ファイル名を変更すると本機で再生できません。ファイル名を元に戻すか、MUSIC フォルダに移動してください。

● 本機で自己録音したファイル以外の MP3 音楽ファイルは、MUSIC フォルダ内でのみ再生が可能です。A～D フォルダ内に入れても再生できません。（本機画面にファイル番号が表示されません。）

● 本機で再生できるのは、A～D フォルダそれぞれ 99 ファイルまでです。それを超えて保存したファイルは再生できません。

● A～D フォルダの中にフォルダを作って録音ファイルを入れても本機では再生できません。

● 再生順序は、本機に戻した順番になります。例えば、録音時の順番が 1 番目でもパソコンから戻したときに 5 番目だった場合、再生順は 5 番目となります。

本機のファイル名の付け方（自己録音時）

「フォルダ名（半角 A～D 1 文字）+ファイル番号（半角数字 3 文字）+録音日付（半角数字 4 文字）」

例えば、A フォルダの1番目に 7 月 20 日に録音されたファイルは、"A0010720.mp3"、同日 2 番目に録音されたファイルは "A0020720.mp3" になります。

本機で音楽を聴いてみよう（本機に MP3 音楽ファイルを転送する）

パソコン内にお持ちの MP3 音楽ファイルを本機へ転送して、音楽を楽しむことができます。

パソコンから本機に MP3 音楽ファイルを転送する

• 本機の MUSIC フォルダ（♪）を開いておく。(P27)

1. **パソコン内の MP3 音楽ファイル、または MP3 音楽ファイルの入っているフォルダを指定して、右クリックから「コピー (C)」を選ぶ**
2. **本機の MUSIC フォルダを指定して、右クリックから「貼り付け (P)」を選び、本機に転送する**

転送したフォルダやファイルの再生対象範囲や再生順序については P31 をご覧ください。

●データ転送中は、本機の "PC" が点滅表示します。"PC" 点滅中は、**絶対に USB ケーブルを抜かないでください。**ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。

• MP3：MPEG-1 AUDIO Layer-3 の略称で、音声圧縮規格の一種

●MUSIC フォルダの中に作ったフォルダ内のファイルも再生できますが、MUSIC フォルダのすぐ下にあるフォルダ（1 階層目）とその下に作ったフォルダ（2 階層目）までが対象でその下（3 階層目）以降のフォルダは再生対象外です。

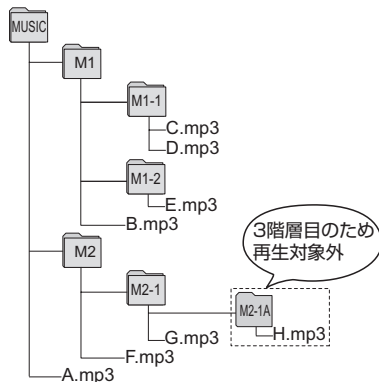
●再生順序は本機に転送したファイルやフォルダ順になります。ただし、1 階層目のフォルダの転送順が優先されますので、右記構成の場合、M1 内にあるファイルを全て再生した後に M2 内にあるファイルの再生を行います。M2-1 の後に M1-2 を転送した場合でも、M1-2 内にあるファイルの方を先に再生します。

●またフォルダ直下にあるファイルから優先して再生します。
例えば、A.mp3 を一番最後に転送しても再生順は最初になります。

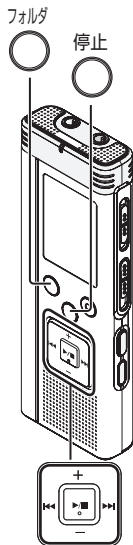
●右記構成の場合、本機で連続再生したときの再生順は
A.mp3→B.mp3→C.mp3→D.mp3→E.mp3→F.mp3→G.mp3
となります。

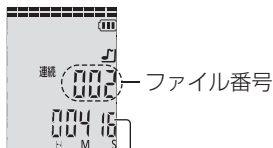
MUSIC フォルダ内のフォルダ / ファイル構成（例）

M1とM2ではM1を先に、M1-1 と M1-2 では M1-1 を先に、C.mp3とD.mp3ではC.mp3を先に本機へ転送した場合の例です。

複数のファイルを一度に転送する場合、パソコンが決めた順番で転送されます。

（M1 などはフォルダ、A.mp3 などはファイルを表しています。）

本機で音楽を聴いてみよう（本機で MP3 音楽ファイルを再生する）

- USB ケーブルを外しておく。(P25)
- 電源を入れておく。(P6)
- 停止 ◯ を押して、停止状態にしておく。

1 フォルダ ◯ **をポンと押して、"♪" (音楽フォルダ) を選ぶ**

2 **⏮、⏭ で聞きたい曲のファイル番号を選ぶ**

選択後、曲の長さ /MUSIC フォルダ内の総ファイル数が表示されます。

3 **▶/■ を押す（再生開始）**

停止：

▶/■ または 停止 ◯ を押す。

- 再生操作については、P10、11 をご覧ください。
- "♪" フォルダでは最大 999 ファイルまで再生できます。それを超えたファイルは本機で再生できません。
- フォルダ名やファイル名などは表示できません。再生順に "001" からの通し番号（ファイル番号）が表示されます。
- MP3 形式以外の WMA や AAC などの他のファイルは再生できません。(画面に番号表示されません。)
- 著作権保護された MP3 音楽ファイルは再生できません。
- 可変ビットレートの MP3 音楽ファイルも再生できる場合がありますが、再生経過時間の表示が実際と異なる場合があります。

- WMA：Windows Media Audio の略称で、音声圧縮規格の一種
- AAC：Advanced Audio Coding の略称で、音声圧縮規格の一種
- 可変ビットレート：音声圧縮時に 1 秒間のビットレートが可変する方式

MP3 音楽ファイルを作成する

本機には、音楽 CD から MP3 音楽ファイルを作成する機能やパソコンソフトは付属していません。市販のパソコンソフトなどを使って、MP3 音楽ファイルを作成してください。
Windows XP、Windows Vista をお使いのお客様は、Windows Media Player 11 を使って、MP3 音楽ファイルを作成することができます。
本書では、Windows XP で、Windows Media Player 11 を使用した場合の操作方法を例に説明しています。詳細は、Windows Media Player の「ヘルプ (H)」内の説明をお読みください。（OS により表示や操作は異なります。）

- パソコンを起動させておく。

1. パソコンの「スタート」→「全てのプログラム」→「Windows Media Player」を選んで、起動する

2.「取り込み」→「形式」→「mp3」を選ぶ

3.「取り込み」→「ビットレート」→「128kbps」（最小サイズ）/「192kbps」/「256kbps」/「320kbps」（最高品質）の中から、取り込むときのビットレートを選ぶ

ビットレートを小さくすると多く曲が入ります。

4.「取り込み」→「CD が挿入されたときに自動的に取り込みを開始する」→「しない」をクリックする

5. 音楽 CD をパソコンに入れる

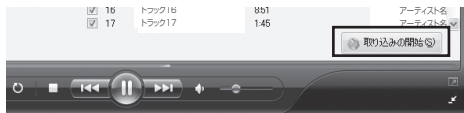
（次ページにつづく）

- Windows Media Player：
  Microsoft 社のマルチメディア再生ソフトで音楽 CD の取り込みなどもできる

6. アルバムの □ をチェックし ☑ にする

取り込みたくない曲があれば、その曲の ☑ 内のチェックを外す。

チェックしている曲が取り込まれる曲です。

7.「取り込みの開始」をクリックして取り込みを開始する

Windows Media Player でパソコンに取り込んだ音楽ファイルは、保存先を変更していない場合、「マイ ドキュメント」の「マイ ミュージック」フォルダ内に保存されます。

- Windows Media Player 9、およびそれ以前のバージョンは MP3 音楽ファイルを作成できません。
- Windows Media Player のダウンロード / 更新などの詳細は Microsoft 社のホームページをご覧ください。

  http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/
- MP3 音楽ファイルの作成がうまく出来なかったり、パソコン操作などが分からない場合は、お買い求めになられたパソコンメーカーなどにお問い合わせください。

• MP3 音楽ファイルの本機への転送は P30 を、再生は P32 をご覧ください。

Q&A（よくあるご質問）

Q(質問)	A(回答)
Panasonic 製 IC レコーダー RR-US950、RR-US750 の録音ファイルは再生できますか？	• MUSIC フォルダに転送すると再生できます。（P29）
上記を除く、他の Panasonic 製 IC レコーダーの録音ファイルは再生できますか？	• 録音フォーマットが異なるため再生できません。
他の Panasonic 製 IC レコーダー（RR-US900、RR-US500、RR-US470 など）に付属している音声編集ソフト（Voice Editing）は使用できますか？	• 録音フォーマットが異なるため使用できません。（本製品の録音フォーマットは MP3 方式です。ADPCM・TRC 方式の弊社 IC レコーダーに付属している音声編集ソフト（Voice Editing）には対応していません。）
セキュリティはどのフォルダにもかかりますか？	• A ～ D フォルダのみです。MUSIC フォルダはセキュリティがかかりません。 • パソコンと接続したとき、セキュリティロックがかかっている場合は、パスワード認証を行わないと本機を認識できません。
どんなファイルが再生できますか？	• MP3 ファイルのみです。WMA や AAC など、その他のファイルは再生できません。
どんなパソコンと接続できますか？	• Windows 2000（SP4）、Windows XP、Windows Vista のみです。詳細は、「パソコンの動作環境」をご覧ください。（P26）
タイマー予約録音できますか？	• できません。
ファイルを分割したり、ファイルの一部を消去できますか？	• できません。

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは		ここをご確認ください
電池	他機器でまだ使える電池が本機で使用できない	• 本機は時計設定内容保護のため、電池容量がわずかになった時点を寿命としています。
操作	操作ができない	• 電池が外れていませんか？ • パソコン接続時は本体では操作できません。
	"hold" が表示され操作できない	• ホールド状態になっていませんか？ホールドを解除してください。(P6)
表示	"時計設定"、"12:00" が点滅する	• 時計を合わせてください。(P7)
	"FULL" と表示する	• A, B, C, D フォルダにファイルが 99 ファイル入っていませんか？ • メモリー容量（P39）を使い切っていませんか？使い切っている場合は、MP3 以外のデータやファイル（P32)、および録音・音楽ファイルを消去するか整理してください。(P12、28)
	"USb--nG" と表示する	• 電池が消耗しきっている場合は、パソコンに接続しても "USb--nG" と表示して、本機を認識しません。一度パソコンから本機を取り外し、新しい電池と交換した後（電池が入っていない場合は電池を入れた後）(P5)、再度接続し直してください。
	メニュー設定画面に "ZOOM" が表示されない	• "ST"（ステレオ）に設定されていませんか？ "MONO"（モノラル）に設定すると、メニュー設定画面に "ZOOM" が表示されます。(P15)
	"CF ACCESS" と表示する	• パソコンから本機を外した後や電源を入れたときなど、本機内でデータの更新を行っているときに表示します。
	設定操作中、元の画面に戻る	• 設定操作中、60 秒間何も操作しないと設定がキャンセルされ、元の画面に戻ります。
	"FAt Err" と表示する	• パソコンなどでフォーマットされたか、またはファイルシステムが壊れている可能性があります。本機でフォーマットし直してください。（フォーマットするとデータはすべて消去されます。）(P12)
	"SYS Err" と表示する	• 動作プログラムが壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは		ここをご確認ください
表示	“Err” と表示する	• 本機で再生できないMP３ファイルであるか、またはMP３ファイルが壊れている可能性があります。該当のMP３ファイルを削除してください。それでも直らない場合は、ファイルシステムが壊れている可能性があります。本機でフォーマットし直してください。（フォーマットするとデータはすべて消去されます。）（P12）
録音	メモリー容量を使い切るのが早い（“FULL” と表示されるのが早い）	• 録音可能時間はステレオ XP 設定とモノラル SLP 設定では約 16 倍違います。（P39）モノラル SLP 設定で録音すると長時間録音できます。（P14、15） • 音楽 CD の取り込み時のビットレートを小さくするとたくさんの曲が入ります。（P33） • MP3以外のデータを多く入れていませんか？不要なデータを整理してください。（P28）
	録音が途中で止まる	• VOS が働いていませんか？（P16）
	録音時にインサイドホンで音声を聞くと、「ピー」という雑音が混じる	• 音量を下げてください。（P10） • インサイドホンと本機を離してください。 • 外部マイク使用時は、インサイドホンと外部マイクを離してください。
	録音内容が途中までしか録れていない	• 録音中、落下等の衝撃が加わったり、電池が外れたりすると、録音データの更新ができないことがあります。
	録音日時の表示が “-- --” になる	• 時計を合わせていますか？（P7）
	“ZOOM” が表示されない	• 外部マイクを使って録音していませんか？（P15）
再生	本機で録音した録音ファイルだが再生できない	• ファイル名が変更されていませんか？ A ～ D フォルダ内ではファイル名の付け方（P29）に従った名前のファイルしか再生できません。
	再生速度が速かったり、遅かったりする	• 再生スピードコントロール機能で再生速度を変更していませんか？（P17）

故障かな !?（つづき）

	こんなときは	ここをご確認ください
再生	一度パソコンに取り込んだファイルを本機に戻したら再生順が変わった	• パソコンから取り込んだファイルはフォルダ内の最後に配置されるため再生順が変わります。
	インサイドホンから音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	• プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか？ • プラグが汚れていませんか？（プラグをきれいにふいてください。）
	音が割れる 音声のしゃべりだし（頭の）部分に「ボッボッ」とノイズがある	• マイク感度（P14）を下げるか、または、録音音源からの距離を遠ざけてください。
	スピーカーから音が出ない	• インサイドホンを接続していませんか？
	雑音が聞こえる	• 本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機と携帯電話を離してください。
	録音音声に雑音がまざって聞きとりにくい	• ノイズをカットしてください。雑音が減り、聞きやすくなる場合があります。(P18)
その他	電源が入らない	• 電池が消耗していませんか。新しい乾電池と交換してください。
	電源が勝手に切れる	• 本機は停止状態で約 15 分以上何も操作しないと、自動的に電源が切れます。電源 / ホールドスイッチを“電源►”側にスライドさせると電源が入ります。(P6)
	ファイル、フォルダが消去できない	• ファイルがロックされていませんか？（P13） • ファイルが入っていないフォルダを選んでいませんか？ • “　”（点滅）が表示されていませんか？（P12）
	パソコンに接続しても、本機を認識しない	• パソコンの OS が非対応ではありませんか？ (P26) • パスワードを設定している状態ではありませんか？（P21） • 電池を入れていますか？入っていない場合は電池を入れてください。 • 電池が消耗している場合、“USb--nC”と表示して、認識されません。(P36)

仕様

電源	乾電池	DC 3.0 V （単4形乾電池×2本使用）

音声	サンプリング周波数（ステレオ / モノラル）	XP: 44.1 kHz/44.1 kHz LP: 22.05 kHz/16 kHz SLP: 8 kHz/8 kHz
	録音方式	MP3
	再生可能ビットレート（MUSIC フォルダ）	8 kbps ～ 320 kbps
	再生可能サンプリング周波数（MUSIC フォルダ）	8 kHz ～ 48 kHz
	周波数特性（－ 10 dB、モノラル録音 / 再生時）	XP: 180 Hz ～ 15,100 Hz LP: 180 Hz ～ 6,700 Hz SLP: 180 Hz ～ 2,900 Hz
	内蔵マイク　S/N 比	40.5 dB (XP) フィルター (JIS A)

USB		USB2.0（Hi-Speed）
音声出力	インサイドホン端子	φ 3.5 mm, 16 Ω , 3 mW (JEITA)
	スピーカー出力	φ 20 mm, 8 Ω , 245 mW (JEITA)
音声入力	外部マイク端子	φ 3.5 mm, 0.80 mV, プラグインパワー対応

本体寸法	40.4 (W) mm × 110.6 (H) mm × 16.8 (D) mm
質量	約 65 g（乾電池を含む）/ 約 43 g（乾電池を含まず）
使用温度範囲	0℃～ 40℃
使用湿度範囲	20% ～ 80%（結露なきこと）

記録容量（メモリー容量）	RR-US590	RR-US570
	2 GB※1	1 GB※1

※1 内蔵メモリーの使用可能領域は表示容量より少なくなります。

電池持続時間（使用条件によって短くなる場合があります。）

電池 (単4形)	録音モード		録音時※3	再生時※4
アルカリ※2 乾電池	ステレオ	XP	約 23 時間	約 35 時間
		LP	約 29 時間	約 35 時間
		SLP	約 32 時間	約 35 時間
	モノラル	XP	約 32 時間	約 35 時間
		LP	約 42 時間	約 35 時間
		SLP	約 45 時間	約 35 時間

※2 パナソニックアルカリ乾電池を使用
※3 ズームマイク設定オフ
※4 EQ 設定オフ、再生速度 1 倍速、音量 13、スピーカー再生

録音可能時間の目安

録音モード		RR-US590	RR-US570	ビットレート
ステレオ	XP	36 時間 00 分	17 時間 50 分	128 kbps
	LP	72 時間 00 分	35 時間 50 分	64 kbps
	SLP	288 時間 00 分	143 時間 40 分	16 kbps
モノラル	XP	72 時間 00 分	35 時間 50 分	64 kbps
	LP	144 時間 00 分	71 時間 50 分	32 kbps
	SLP	576 時間 10 分	287 時間 30 分	8 kbps

●この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

著作権について

放送や CD、MD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では™、® マークは一部明記していません。

お手入れ

■ 本機が汚れたら

乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学ぞうきんは、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

■ 故障を防ぐために

- **ズボンの後ろポケットに入れて座らないでください。**
- **インサイドホンを本機に巻きつけたまま、かばんの中にいれ、外から大きな力を加えないでください。**
  表示パネルの破損につながります。
- **本機に、雨水や水滴などがかからないようにしてください。**
- **本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。**
  強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- このマークがある場合は -

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

警告

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

単４形電池は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

乗り物を運転中に操作したりステレオインサイドホンで使わない

交通事故の原因になることがあります。

- 歩行中でも周囲の状況に十分ご注意ください。

分解、改造をしない

分解禁止

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

安全上のご注意（つづき）

警告

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

水などの液体をかけたり、ぬらしたりしない

本機の内部に入ると、ショートや発熱の原因になります。

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕ と ⊖ を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

注意

ステレオインサイドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

長期間使わないときは、本機から電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

ステレオインサイドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 夏の閉め切った自動車内や、直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

- スピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（裏表紙をご覧ください）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■補修用性能部品の保有期間 6 年

当社は、この IC レコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

「故障かな !?」（P36 ～ 38）の表に従ってご確認のあと、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	IC レコーダー
品番	RR-US590/ RR-US570
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー･ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル **0120-878-365** (パナは 365日)

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。　●地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎ (0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎ (0138)48-6631

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎ (028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎ (027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎ (029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎ (055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎ (025)286-0180

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎ (017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎ (018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎ (019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎ (023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎ (024)991-9308

中部地区

地域	住所	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎ (076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎ (076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎ (0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎ (0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎ (054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎ (058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎ (059)254-5520

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。　●地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

近畿地区

滋賀 栗東市霊仙寺1丁目1-48 ☎(077)582-5021	**奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)646-2123	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
大阪 大阪市城東区関目2丁目15-5 ☎(06)6359-6225	**兵庫** 神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4 ☎(078)796-3140

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	**岡山** 岡山市田中138-110 ☎(086)242-6236
松江 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128	**広島** 広島市西区南観音1丁目13-5 ☎(082)295-5011
出雲 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	**山口** 山口市小郡下郷220-1 ☎(083)973-2720

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-6388	**高知** 高知市仲田町2-16 ☎(088)834-3142
徳島 徳島市沖浜2丁目36 ☎(088)624-0253	**愛媛** 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎(089)905-7544

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
長崎 長崎市東町1919-1 ☎(095)830-1658	**天草** 天草市港町18-11 ☎(0969)22-3125
大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
	大島 奄美市名瀬朝仁町11-2 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11　☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。　0608

さくいん

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
   (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   (ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
   (ヘ) 本書のご添付がない場合
   (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。
   (ご相談窓口一覧表を同梱の場合)
   お近くのご相談窓口は同梱別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	RR-US590/RR-US570
保証期間	お買い上げ日から **本体 1年間**
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　　様 電話（　）　ー
※販売店	住所・販売店名 電話（　）　ー

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。